



こそだ しえん
子育て支援コンシェルジュだより vol.5

イヤイヤ期の子育て

やすしこそだ しえん
野洲市子育て支援センター

イヤイヤ期は、1歳を過ぎた頃から始まり、以下のような姿が見られるようになります。

- ・今まで機嫌良くできていたことを嫌がったり泣いたりしてしつがらない。
⇒着替え・食事・お風呂 など
- ・欲しい物を買ってもらえなかったり、やりたいことを止められると怒ってかんしゃくを起こす。など

「いつまで続きますか？」と聞かれるのですが、しっかりと決まっているものではなく、個人差があるようです。ただ、はっきりと言える事は、お子さんに自我が芽生え、思いを主張する事で、心の自立へ向かって歩み出す時期を迎えたという事です。

とはいえ、どうかかわればよいのか、対応に困るお家の方も多い事でしょう。そんな時はまず、「そうか。嫌だね。」と、お子さんの気持ちに寄り添ってあげてください。その上で、「でも、このかわいい洋服着て公園で砂遊びしたら楽しいと思うよ。」など、お子さんの気分が変わるような言葉を掛けてみてはどうでしょう。感情が高ぶって泣き叫んでいる時は、お子さんの気持ちが治まるまで、少し離れた場所で見守ります。落ち着いてきたところで、しっかりと抱きしめてあげてください。

この時期のお子さんは、言葉が少し出ているものの、思いを上手に伝えられず、まだ自分の感情のコントロールが難しい時期です。でもお家の人に受け止めてもらう事で納得し、安心して成長していけるのです。

また、危険な事や人を困らせるような事をした時は、叱る事も大切です。「危ないからやめようね。」など、その時にわかりやすい短い言葉で伝えてください。お家の人が真剣に伝えたいと思っている事は、お子さんに伝わるはずで、日々、泣いたり怒ったりしながら、子どもは自我を確立していきます。

大変な時だからこそ、たっぷりの愛情でゆったりと成長を見守っていききたいですね。



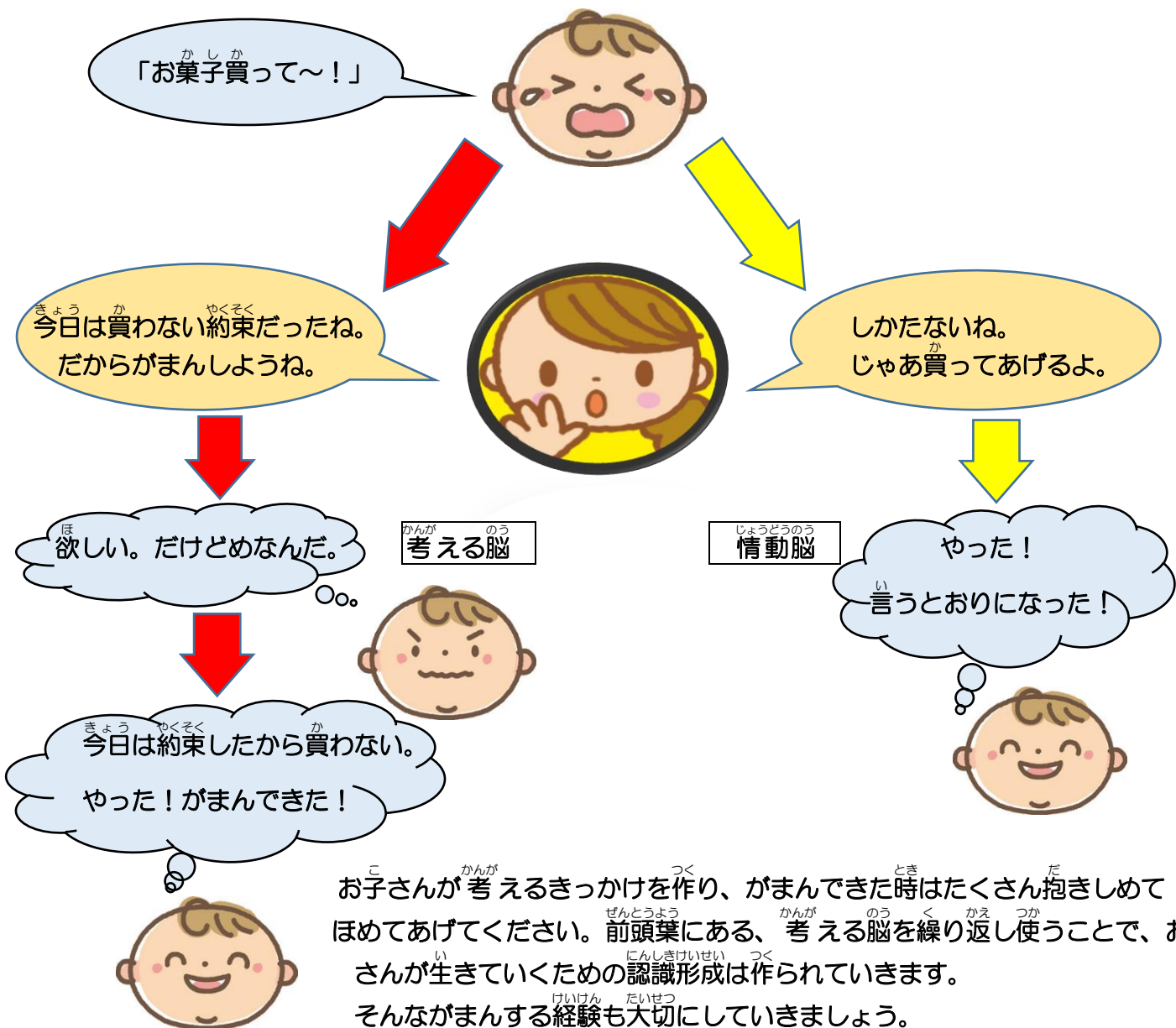


がまんする経験を大切に



2歳児は自我が芽生える素晴らしいで時期です。聞いてもよい要求は認めてあげて、お子さんの気持ちを満たし、達成感と安心感でいっぱいにしてあげてください。

でも、社会に認められない要求や、命にかかわるような危険な要求は、その時にくりかえし言い聞かせていくことも大切です。友だちをたたいてしまう、ご飯の時間におやつを食べたがる、お店で走り回るなど、社会で生活していくうえで困ることやしてはいけないことなどは、その都度一つひとつ伝えていきましょう。



野洲市子育て支援センター



野洲市辻町433-1 (健康福祉センター3階)

TEL : 077-518-0830

FAX : 077-586-3668

月曜日～金曜日 9:30～16:30

